



2 月度・定例会 コンパクトシティモデル地域の視察・研修 ～群馬県前橋市～

実施報告

中心市街地は再生の試練の中、既存老朽商業施設の新たな活用により再生への光を感じた。

2月16日都産研の会員10名+事務局1名は、群馬県前橋市に訪問しコンパクトシティに資する事業例を視察しその背景、経緯などをご説明いただいた。

今回の説明会会場となった「前橋プラザ元気21」は、昭和40年代の大型店舗を耐震補強や用途変更、床の撤去により行政センター、公民館、飲食店、子育てひろば、子供図書館、群馬社会福祉大学附属医療福祉専門学校を混在させ、明るいライトコートを持つ複合ビルとして平成19年12月にオープンさせたという。中でも日本一のこども図書館や、いつも列をなして並んでいるという子育てひろ

ば、親子元気ルームは子育て支援としても施設の目玉となっている。将来は隣接するANEXビルに美術館を開設すること。駐車場が本施設に隣接しているため施設利用者が街を闊歩することに現状ではつながっていない点が改善だとのことでした。施設は市が民間から改修後購入したという。解体、新築による場合より費用は低く済んだようだ。

竹下夢二が定宿にしていたという老舗料亭三翠楼 松し満(夢二の真筆掛け軸がかかっていた)で昼食をとり、午後は市の南部拠点地区126haを視察しました。ペイシアを中心にしたパワーセンターの開発が進められていた。前橋市はヤマダ電機の本社発祥地であった。大規模な企業の外部流出を如何に止め新たな

企業誘致を行うかに腐心するさまは、どこの自治体も同じであると感じた。

根岸課長の広瀬川の親水エリアの整備に行政としてできる街なかの取り組みや、今井係長の街なかの案内から前橋はかつて、海外にも知れた生糸の市(まち)往時の歴史を感じる街のところどころに残しながらも、人口減少による街の懸命の努力を感じることができた。

最後に、前橋市の都市計画局 根岸課長、山賀副参事、にぎわい商業課の山口課長、鶴野課長補佐、富澤係長、小峰主任、そして今回のコーディネートをお願いした前橋商工会議所の今井係長、横山主任ありがとうございました。篤く感謝いたします。(中嶋)

感想

新規会員として初めての視察研修で緊張致しましたが、原会長はじめ皆様のご配慮によりまして前橋の広瀬川を散策し相模原西門商店街 同様のシャッター街を視る頃には落ち着きました。

プラザ元気21での市職員の方による都市計画のご説明では一部 私達の抱える問題と共通した事情が伺えました。

「まちおこし」としては、川から複数の水車による誘引で子供が遊べる小川と、発電によるエコ提灯で日本初の「夜の散歩道」を演出されては・・・など。研修会の思いつくままの感想として失礼します。(小泉)



▲ 料亭 松し満 にて

上溝南中・授業で『さがみはらの15年後の君へ』を活用！

「都産研(とさん犬)の夢」上溝南中で叶う！

思い起こせば約2年前、中学生向けの提言書作成が、都産研総会で承認されました。1年後、多くの会員が執筆した原稿をベースに、中嶋編集長が卵パワーで、原稿と「とさん犬」のキャラを完成(=提言書が完成)させた。その後、FMさがみやイベントなどで提言書を会員がPR! もちろん居酒屋でも酔った勢いでPR! また各種「とさん犬」グッズは会員以外にも大ウケした。しかし私たちは昨年夏休み前に市内中学3年生に配布した提言書が、教育現場でどの様に活用されたのか知ることが出来なかった。その疑問に答えて下さったのが、定例会にもご出席頂いた上溝南中学校の稲葉校長であった。提言書は中学生のバイブルになったのかも知れない!(中村)



都産研メンバー・上溝南中の授業を参観しての感想

上溝南中 稲葉校長の特別授業を参観して (2/21 参観)

稲葉校長は、さる 11 月の定例会に来ていただき、「三学期にこの提言書を配布し、私が自ら特別授業を行いたい。」との発言をされ、それを実行されました。

その中味は、他の皆さんが書かれることでしょうかから詳しくは述べませんが・・・

私も含めて、何やら会場で偉そうなことを言ってもその場限りで実行できないことが多々あります。

それでは何も実現しませんね。

提言に呼応する行動が起きた事を受け、次に都産研は何をするのか・・・

じっくり考えましょう。(長崎)

冊子を懸命に読む姿に感動 (2/22 参観)

こんな機会でもなければ、まちがっても行くことのない中学校の教室、新鮮でした。清水さん、渡邊さんとご一緒させていただきました。

1 時間だけの参観でしたが、クラスごとにかなり個性があるようで、とても静かな授業でした。

冊子を懸命に読んでいる生徒のみなさんを見て、ちょっとした感動を覚えました。また昨日の生徒たちの感想を読ませて頂きました。

中嶋さん、長崎さんの目論見は、上南中に関しては大成功です。すね。

改めて、稲葉校長に感謝です。(原保美)

さらなる広がり期待 (2/22 参観)

新しいスタイルを、先生方に示したいという、稲葉校長の熱意に感激しました。先生も急速に世代交代が進んでいます。そんな中で、新しい企てを起きたいという切実さが感じられ、とても素晴らし取り組みでした。その素材として、今回の冊子が活用されているのはうれしい限りです。来年度は、これを受け、各担任の先生たちが、取り組みたいと言ってくれることを願います。

私も、NPO の仕事で授業をしますので、その意味でも、生徒との投げかけのし方、気持ちのキャッチの仕方など、教えられるものがありました。とても貴重な時間でした。(渡辺)

「なりたい大人」と「なりそうな大人」(2/23 参観)

前日の新聞記事のせいか、職員室での反響か、我々のほかにも生徒の親や教員の皆さんが大勢 (7~8 人) 見守る中、上溝南中学校関係者が最も注目する授業が始まった。

生徒達が 30 歳になった時の自分自身を想像するのはなかなか難しそうだった。

短い時間ではあったが、「なりたい大人」と「なりそうな大人」の話題で盛り上がっている姿が微笑ましかったです。

「提言書」の内容をきっかけにしてのやり取りでは、「世の中の問題や現実」を冷静に見つめていることや、将来の社会を心配している事も感じられた。何れにしても生徒達の澁刺とした表情に元気を貰い、ベテラン教師の「授業うまさ」を随所に感じたひと時でした。(白井一郎)

久しぶりの授業参観 (2/24 参観)

実は 3 年前まで上溝南中学校の PTA 会長でした。当時の同校は本当に大変な時期で、先生方は生徒を帰宅させないと昼食もとれない状況でしたが、今ではビックリ！！とても落ち着いた授業態度でした。学校は教員の力で変わるし、その先頭に立つ校長先生の力量はとても大事で、稲葉校長の授業はさすがでした。提言書は中学生を対象とした物なら、先生方に興味を持ってもらい、活用してもらえる様、働きかけが必要だと思いました。(山中)



学校教育に地域との連携を (2/22 参観)

2 月 22 日 (火) に行ってきました。3 組はとても静かなクラスで子供達の緊張感があつたかもしれません。4 組は活発な動きもみられたので、少しほっとしました。

私は平成 13 年度ひよこ保育園を卒園していた子どもたちが気になりましたが、照れながらも一生懸命がんばっていたことは嬉しかったです。

しかし、全般に感じるのは中学の卒業が間近に迫っているのに、将来の社会に向かっての関心は少なく感じました。学校教育も環境や食育、防災福祉とか社会教育的内容がカリキュラムに増えてきて大変ですが、地域との連携、特に公民館や福祉協議会等を通して中学の教育が子ども達の生きる力を育てることができたら素晴らしいと思います。もちろん、上溝には夏祭りがあります。地域の力を活用してください。(清水)

3 月定例会「次年度の準備とスケジュール作成について」

日 時 平成 23 年 3 月 9 日 (水) 19:00~20:00

場 所 相模原商工会議所 役員会議室 (新館 4 階)

担 当 原会長、中嶋副会長、小野副会長

○ご参加希望の方は、TEL : 042-753-8131 または FAX : 042-753-7637 にて事務局林まで御連絡下さい。